

活力あふれる 住みよい長崎!



長崎市議会議員

井上重久 No.41 だより

平成28年8月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 梅本 一由 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032



展望フロアがある新西工場7月より運用開始



新西工場建設工事「火入式」(平成28年6月25日)

港夕日が活かされた新施設!

本格的な猛暑日が続くなか、ペーロン・夏祭り、被爆71年の祈りと平和を考える集会及び精霊流しの時期を迎えました。皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

三菱・フジタ・菱興特定建設工事共同企業体は、さる6月25日行政・地元自治会、来賓者ら約100名が出席し、新西工場建設工事「火入式」を行い、7月からの試運転、10月の本格稼働に向けての安全祈願を執り行いました。

新西工場は、老朽化した一般廃棄物焼却施設の西工場(木鉢3丁目)に変わる新しい焼却施設(神の島3丁目)

新西工場運用開始!

試運転開始の7月からは、青色の袋で捨てていた「プラスチック製品(洗面器、歯ブラシ、DVDなど)、ゴム製品(ゴム手袋、長靴、輪ゴムなど)、革製品(ベルト、靴など)が燃やせるごみ」として処理できるようになり、分別方法が変更となりました。プラスチックなど燃やせることで、最終埋め立て処

分場の延命化も図れるものと期待されています。

新西工場は、長崎市が施設を建設し、その施設運営を民間の企業(SPC…特別目的会社)に、平成28年10月1日から平成43年9月30日までの15年間、代行させる「公設民営方式」で、排ガス、発電、環境に配慮した最新鋭の焼却施設です。旧西工場は、施設の閉鎖に向けて内部の清掃等の後片付けを行い、煙突は老朽化が進むので早期解体に向け検討が進められています。

今後とも、皆様の方のご指導・ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。暑さ厳しきおりお体ご自愛下さい。

長崎市議会議員 井上 重久



長崎中学校総合体育大会開会式(平成28年6月11日、かきどまり陸上競技場)



第87回長崎地区メーデー(平成28年5月1日、出島ワフ三角広場)



第50回稲佐山つつしまつり(平成28年4月29日、稲佐山野外ステージ)



第21回夏祭り(平成28年7月16日、長崎サンセットマリーナ)



保健環境自治連合会総会(平成28年7月1日、市民会館文化ホール)



大浜町自治会パーロン大会(平成28年6月12日、大浜町海岸)

多岐の備忘録

4月~7月

総務委員会(6月8日) 本会議(6月10日) 報告(要旨)

編集後記



総務委員会審査(5月25日、議会棟)



住民投票条例の記名投票(6月10日、本会議場)

住民投票条例案否決!

長崎市議会は5月25日臨時議会を開き、「長崎市庁舎の建設地に関する住民投票条例について」田上市長は「反対」の意見書を附けて条例案を提出、総務委員会では、慎重な論議が必要、3万人近くの署名は重みがある、県の意向を確認する必要があるなど条例案を継続審査としていたが、6月8日の総務委員会において少数賛成で否決されました。

6月10日開会日、「長崎市庁舎の建設地に関する住民投票条例について」否決した審査結果が報告され、討論では「市は市庁舎を公会堂跡地に建て替える方針を決めており混乱を招く」「市民が将来を考えて行動した声を聞くべき」などの意見があり、議長を除く記名投票の結果、住民投票条例案に賛成は9、反対は30で条例案は否決されました。

ご相談はお気軽に!

長崎市議会議員 井上重久

自 宅 長崎市大浜町408 ☎ 865-3553
生活相談室 長崎市水の浦町1-1 ☎ 861-1985
http://inoueshigehisa.net/

▼長崎市議会は6月16日、オバマ米国大統領の広島訪問という歴史的快挙の実現を受け、被爆地から核兵器廃絶と世界恒久平和の実現への決意を表明する決議を全会一致で可決した。

決議では、「核兵器のない世界」へ向け、長崎市民と広島市民が手を携えて、被爆都市としての役割を再確認し、決意も新たに一日も早い核兵器廃絶という悲願の実現に向けて、具体的な行動に移していく必要があるとした。

長崎市議会は、オバマ米国大統領の長崎訪問を期待し、広島市議会と力を合わせ、長崎を最後の被爆地とするため、世界の政治家らに被爆地訪問を働きかけ、被爆の実相を伝える努力を続けるなど決意を表明した。

▼さる7月16日、長崎サンセットマリーナにおいて約3,000名が来場し、福田地区の恒例行事になった「第21回夏祭り」が盛大に開催された。昨年末で、福田中学校区青少年育成協議会を中心運営してきたが、福田地区自治会連合会が主体的となり、地域全体で盛り上げるイベントとして生まれ変わった。子ども達の非行防止、健全育成に大きく寄与するもので、地域住民同士の親睦・交流を通じて福田地区の活性化に繋げる必要がある。

一般会計補正予算約9億8,821万円に減額修正、31の議案を可決・同意!



平成28年第2回長崎市議会臨時会は5月25日開催され、第76号議案「長崎市庁舎の建設地に関する住民投票条例について」総務委員会に付託され審査されましたが、閉会中の継続審査となりました。また、平成28年第3回長崎市議会定例会は、6月10日に開会し6月29日までの20日間の日程で開催されました。

一般会計補正予算は、旧公会堂解体費9,728万円、長崎びわ産地再生施設費4,200万円などで、民間保育所施設整備助成費1億5,023万9千円が減額され9億8,821万円、特別会計予算(後期高齢者医療事業)1,916万1千円の総額10億737万1千円に減額修正されました。

条例改正では、小神小学校の移転に伴う位置変更と黒崎東小学校を廃止し、新たな小学校を設置するのに伴い名称及び位置を定める「長崎市立小学校条例の一部を改正する条例」、「財産の減額譲渡について」等10件を可決しました。

また、議員提出議案「未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書」「オバマ米大統領の広島訪問を受け、被災地から核兵器廃絶と世界恒久平和の実現への決意を表明する決議」を採択、議員派遣は9件の派遣を決定しました。

補正予算の主な内容

熊本地震災害支援費

熊本地震発生に伴い、被災地における各種業務を支援するため職員を派遣するもの。
●熊本地震災害支援費
被災地職員派遣費
:1,298万9千円

ながさき移住サポートセンター負担金

移住希望者の移住・定住を促進するため、県と長崎市を
:535万2千円

含む21市町が協働で運営する「ながさき移住サポートセンター」の事業費及び運営費を負担するもの。

世界遺産登録推進費

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」登録推進費
:1億7,320万円
平成30年の世界遺産登録を目指す「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」について、外海地区の「潜伏・禁教期」の物証や集落の特徴を把握する

社会福祉総務費

多機能型包括的支援体制構築モデル事業費
:1,472万7千円
高齢、障害、子育て、生活困窮など多分野にわたる福祉を増額するもの。

戸籍住民基本台帳費

個人番号カード推進事業費
:2,949万4千円
マイナンバーカード作成等にかかる交付金の上限額が示されたことから、地方公共団体情報システム機構への「通知カード・個人番号カード関連事務の委任に係る交付金」を増額するもの。



出津教会(外海地区)

ための調査及び推薦書の再作成等の負担金を増額するもの。

児童福祉施設整備事業費補助金

民間保育所
:3億2,664万9千円
待機児童の解消と入所児童の保育環境の向上を図るため、民間保育所の定員増を伴う増築及び創設の施設整備に助成するもの。

民間病院施設整備事業費補助金

長崎原爆病院...:3億30万円
平成28年度国庫補助の内示額が増額されたことに伴い、平成28年度の事業費を増額するもの。
・事業期間
平成27年度～平成31年度

予防接種費

定期予防接種費
:3,796万4千円
乳児のB型肝炎予防接種が定期接種の対象となることに伴い、予防接種に必要となる経費を増額するもの。

・対象者・平成28年4月1日以降に出生した生後1歳未満の乳児(3回接種)
・自己負担額・なし(無料)

環境経済委員会本会議報告(要旨) 6月21日～23日

文化施設管理運営費

旧公会堂解体費...:9,728万円
旧長崎市公会堂について、建物の老朽化の進行が懸念されることや防犯面等施設の管理上、早期の解体が望ましいことから解体工事等を行うもの。



地球温暖化対策市民運動推進費

:922万3千円
国の間接補助事業者である一般財団法人環境イノベーション情報機構からの補助金(補助率10/10)を活用し、地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」の普及啓発と併せて「ながさきエコライフ」の取組みの浸透と拡大を図るもの。

長崎びわ災害リスク管理支援費補助金

:72万2千円
長崎市特産の「びわ」は、台風・寒害等の気象災害に遭いやすいため、災害リスク管理を促すことを目的に果樹共済に係る農業者負担の一部を助成しているが、平成28年1月の大雪・寒波により大きな被害を受けたことから更なる共済加入を促すため、

なる共済加入を見込み、対象者数を拡大するため増額するもの。
・対象者数 180人↓400人(220人拡大)

長崎びわ生産・品質向上緊急対策費補助金

:1,132万5千円
平成28年1月の大雪・寒波により大きな被害を受けたびわ産地の維持継続に資するため、病害虫対策に係る経費の一部を助成するもの。

長崎びわ産地再生施設費補助金

:4,200万円
平成28年1月の大雪・寒波により長崎市特産の「びわ」が大きな被害を受けたことから、寒害に強いびわ産地の育成を支援するため、びわの簡易ハウス導入に要する経費の一部を助成するもの。



大雪損壊によるびわハウス

水産物等拠点施設設置可能性検討費

:300万円
長崎の魚や水産加工品等を活かした、まちなかにおける水産物等の拠点について、民間活力を活かした整備や運営

方法等、設置の可能性を検討するため、予備的な調査・分析を行うもの。

マガキ低コスト養殖・品質向上試験事業費

:107万5千円
マガキ養殖において、低コストで効率的な天然採苗試験及び品質向上を図るための養殖カゴを利用した養殖試験を行うもの。

長崎水産練り製品ブランド化支援費

:270万円
市内消費者への認知度向上を図るために実施するPRイベントに対する経費の一部を助成する。また、長崎かまぼこの域内外への販路拡大を図るための見本市、商談会を併せて実施するもの。

伝統芸能等活動費補助金

:710万円
一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業助成金を活用し、ペーロン競漕及び長崎くんちに使用する備品の購入費等を助成するもの。
・日見地区ペーロン協会 210万円
・筑後町自治会 250万円
・上町自治会 250万円

世界・日本新三大夜景推進費

:116万9千円
長崎、香港とともに世界新三大夜景に認定されているモナコ公国の「モナコ少年合唱団」が行う日本公演が長崎市等で開催されることから、世界新三大夜景のPR写真展及び長崎で行う無料特別公演を共催するもの。

定住促進空き家活用費

活用可能空き家調査費
:393万2千円
市内の空き家状況や所有者、利用の意向などを調査し、活用可能な空き家を登録し、移住希望者へ向けてホームページなどで公表することで、移住定住を促進するもの。

予備費

:2,400万円
熊本地震の発生以降、被災地への職員派遣や物資等支援について、予備費により対応しており、今後の大雨等による災害などに備え補てん増額するもの。

財産の取得について

(災害対応特殊はしご付消防自動車1台)
財産の購入については、その予定価格が2,000万円以上であるため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会で議決した。

